

科目名	社会科学講義実践(政治・社会)						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	15時間/30時間	担当者	田中 純一		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	公務員総合科 2年						
授業概要	公務員試験に向けた社会科学の政治分野・社会分野の問題演習の実施。1年時に身につけた知識を、実戦形式で使いこなせるようにする。過去問演習を中心に小テストで知識の確認を行う。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○			○		人文科学(政治・社会)分野の要点を理解し、初級程度公務員試験過去問題の解答で平均正答率80%が達成できる。	
テキスト・教材 参考図書	・麻生キャリアサポート編集 絶対合格シリーズ 社会科学 問題集編 及び テキスト編						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	社会分野:「労働事情」			授業前にテキスト編で1年時に学習した内容を復習しておくこと。		
	2	政治分野:「国会」			授業前にテキスト編で1年時に学習した内容を復習しておくこと。		
	3	政治分野:「内閣」			授業前にテキスト編で1年時に学習した内容を復習しておくこと。		
	4	政治分野:「裁判所」			授業前にテキスト編で1年時に学習した内容を復習しておくこと。		
	5	政治分野:「三権分立」			授業前にテキスト編で1年時に学習した内容を復習しておくこと。		
	6	政治分野:「国際政治」			授業前にテキスト編で1年時に学習した内容を復習しておくこと。		
	7	政治分野:「政治制度」			授業前にテキスト編で1年時に学習した内容を復習しておくこと。		
	8	政治分野:「基本的人権」			授業前にテキスト編で1年時に学習した内容を復習しておくこと。		
	9	政治分野:「民主主義」			授業前にテキスト編で1年時に学習した内容を復習しておくこと。		
	10	政治分野:「民主主義・日本国憲法」			授業前にテキスト編で1年時に学習した内容を復習しておくこと。		
	11	政治分野:「日本国憲法」			授業前にテキスト編で1年時に学習した内容を復習しておくこと。		
	12	政治分野:「地方自治」			授業前にテキスト編で1年時に学習した内容を復習しておくこと。		
	13	政治分野:「選挙制度」			授業前にテキスト編で1年時に学習した内容を復習しておくこと。		
	14	社会分野:「社会保障・情報化・環境問題」			授業前にテキスト編で1年時に学習した内容を復習しておくこと。		
	15	時事対策					
評価方法	4月～6月での小テストでの総出題満点を100点と換算し、出席状況と合わせ評価する 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト	◎					100%
	出席状況				◎		20%
履修上の注意	授業後の復習を必ず実施すること。						

科目名	社会科学講義実戦(経済)						
科目名(英)	Social Sciences "Political and Economic"						
単位数	2単位	時間数	15時間/30時間	担当者	桑原 賢		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	公務員総合科 2年						
授業概要	公務員試験の一次試験(筆記試験)での頻出単元である「社会科学(政治経済)」での得点率を上げることを学習目標に掲げ講義を行う。経済分野の要点を踏まえ、過去問演習を中心に小テストで知識の確認を行う。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					社会科学(経済)分野の要点を理解し、初級程度公務員試験過去問題の解答で平均正答率80%が達成できる。	
テキスト・教材 参考図書	・麻生キャリアサポート編:絶対合格シリーズ 社会科学 問題集編 ・配布プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	市場・価格			問題集の該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておく		
	2	企業			問題集の該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておく		
	3	景気・物価			問題集の該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておく		
	4	金融 1			問題集の該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておく		
	5	金融 2			問題集の該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておく		
	6	金融 3			問題集の該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておく		
	7	試験問題解説			問題集の該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておく		
	8	財政 1			問題集の該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておく		
	9	財政 2			問題集の該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておく		
	10	財政 3			問題集の該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておく		
	11	為替・貿易			問題集の該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておく		
	12	国際経済			問題集の該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておく		
	13	経済指標			問題集の該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておく		
	14	日本経済史			問題集の該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておく		
	15	経済学史			問題集の該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておく		
評価方法	4月～6月での小テストでの総出題満点を100点と換算し評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト	◎					100%
履修上の注意	授業時に配布するプリントはしっかりと復習を行うこと。						

科目名	人文科学講義実戦(日本史)						
科目名(英)	History of Japan						
単位数	3単位	時間数	15時間/45時間	担当者	武内 淳		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	公務員総合科 2年						
授業概要	公務員試験の一次試験(筆記試験)での頻出単元である「人文科学(日本史)」での得点率を上げることを学習目標に掲げ、講義を行う。過去問演習を重ねることが「人文科学(日本史)」の攻略のポイントであると考え。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					人文科学(日本史)分野の要点を理解し、初級程度公務員試験過去問題の解答で平均正答率80%が達成できる。	
テキスト・教材 参考図書	絶対合格シリーズ 人文科学問題集編(日本史)、前年度使用の絶対合格シリーズ人文科学テキスト(日本史)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	現代 2	戦後2			履修内容のテキストまたは、過去問のいずれかを確認プリントとして実施	
	2	文化史 1	飛鳥文化			履修内容のテキストまたは、過去問のいずれかを確認プリントとして実施	
	3	文化史 1	国風文化			履修内容のテキストまたは、過去問のいずれかを確認プリントとして実施	
	4	文化史 2	院政期の文化～鎌倉文化			履修内容のテキストまたは、過去問のいずれかを確認プリントとして実施	
	5	文化史 3	南北朝文化			履修内容のテキストまたは、過去問のいずれかを確認プリントとして実施	
	6	文化史 3	桃山文化			履修内容のテキストまたは、過去問のいずれかを確認プリントとして実施	
	7	文化史 4	寛永期の文化～化政文化			履修内容のテキストまたは、過去問のいずれかを確認プリントとして実施	
	8	文化史 5	明治の文化①			履修内容のテキストまたは、過去問のいずれかを確認プリントとして実施	
	9	文化史 5	明治の文化②			履修内容のテキストまたは、過去問のいずれかを確認プリントとして実施	
	10	文化史 6	大衆文化			履修内容のテキストまたは、過去問のいずれかを確認プリントとして実施	
	11	3 近世	安土・桃山			履修内容のテキストまたは、過去問のいずれかを確認プリントとして実施	
	12	3 近世	江戸			履修内容のテキストまたは、過去問のいずれかを確認プリントとして実施	
	13	4 近代	明治			履修内容のテキストまたは、過去問のいずれかを確認プリントとして実施	
	14	4 近代	昭和戦前			履修内容のテキストまたは、過去問のいずれかを確認プリントとして実施	
	15	5 現代	昭和戦後			履修内容のテキストまたは、過去問のいずれかを確認プリントとして実施	
評価方法	4月～6月での小テストでの総出題満点を100点と換算し評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト	○					100%
履修上の注意							

科目名	人文科学講義実戦(世界史)						
科目名(英)	World History						
単位数	1単位	時間数	15時間/45時間	担当者	高木 愛		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	公務員総合科 2年						
授業概要	公務員試験の一次試験(筆記試験)で「人文科学(世界史)」で得点できる知識を身につける。世界史分野の要点を踏まえ、過去問演習を中心に小テストで知識の確認を行う。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					人文科学(世界史)分野の要点を理解し、初級程度公務員試験過去問題の解答で平均正答率80%が達成できる。	
テキスト・教材 参考図書	・麻生キャリアサポート 絶対合格シリーズ 人文科学 テキスト編・問題集編						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	中国史① 殷・周・春秋戦国・秦			授業の復習・重要事項の暗記		
	2	中国史② 漢			授業の復習・重要事項の暗記		
	3	中国史② 新・後漢			授業の復習・重要事項の暗記		
	4	中国史③ 魏晋南北朝・隋			授業の復習・重要事項の暗記		
	5	中国史④ 唐			授業の復習・重要事項の暗記		
	6	中国史⑤ 宋・遼・金			授業の復習・重要事項の暗記		
	7	中国史⑤⑥ モンゴル帝国・元			授業の復習・重要事項の暗記		
	8	中国史⑥ 明			授業の復習・重要事項の暗記		
	9	中国史⑦ 清			授業の復習・重要事項の暗記		
	10	中国史⑧ アヘン戦争			授業の復習・重要事項の暗記		
	11	中国史⑧⑨ 太平天国の乱・洋務運動・日清戦争			授業の復習・重要事項の暗記		
	12	中国史⑨ 列強の中国支配・戊戌の変法			授業の復習・重要事項の暗記		
	13	中国史⑩ 義和団事件・辛亥革命・五四運動			授業の復習・重要事項の暗記		
	14	中国史⑪ 国共合作・国共対立			授業の復習・重要事項の暗記		
	15	中国史⑪ 中華人民共和国の成立			授業の復習・重要事項の暗記		
評価方法	4月～6月での小テスト(確認テスト)での総出題満点を100点と換算し評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト(確認テスト)	○					100%
履修上の注意							

科目名	人文科学講義実戦(地理)						
科目名(英)	geography						
単位数	3単位	時間数	15時間/45時間	担当者	馬場 秀樹		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	公務員総合科 2年生						
授業概要	公務員試験の一次試験(筆記試験)で「人文科学(地理)」での得点率を上げることを学習目標に講義を行う。地理分野の要点を踏まえ、過去問演習を中心に小テストで知識の確認を行う。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					人文科学(地理)分野の要点を理解し、初級程度公務員試験過去問題の解答で平均正答率80%が達成できる。	
テキスト・教材 参考図書	・麻生キャリアサポート編集 絶対合格シリーズ 人文科学問題集編(地理)、人文科学テキスト(地理)、・帝国書院 地図帳						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
		1. 気候・土壌・風①②			毎週1度朝に実施される週テストに合格出来るように復習を行う。		
		2. 第3～4回 地形①②			毎週1度朝に実施される週テストに合格出来るように復習を行う。		
		3. 第5～6回 地図・時差⑤⑥			毎週1度朝に実施される週テストに合格出来るように復習を行う。		
		4. 第7回 植生・農業			毎週1度朝に実施される週テストに合格出来るように復習を行う。		
		5. 第8回 産業・貿易・発電			毎週1度朝に実施される週テストに合格出来るように復習を行う。		
		6. 第9回 日本			毎週1度朝に実施される週テストに合格出来るように復習を行う。		
		7. 第10～11回 アジア・アフリカ①②			毎週1度朝に実施される週テストに合格出来るように復習を行う。		
		8. 第12～13回 ヨーロッパ・アメリカ・オセアニア①②			毎週1度朝に実施される週テストに合格出来るように復習を行う。		
		9. 第14～15回 人口・海流漁業・環境・地名・民族①②			毎週1度朝に実施される週テストに合格出来るように復習を行う。		
評価方法	4月～6月での小テストでの総出題満点を100点と換算し評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト	○					100%
履修上の注意	毎回持参するもの → 絶対合格シリーズ 人文科学問題集編(地理)、前年度使用の絶対合格シリーズ人文科学テキスト(地理)、帝国書院 地図帳						

科目名	自然科学講義実戦(数学・資料解釈)						
科目名(英)							
単位数	3単位	時間数	15時間/45時間	担当者	賀来 美和		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	公務員総合科 2年						
授業概要	公務員試験の一次試験(筆記試験)で「自然科学(数学資料解釈)」での得点率を上げることを学習目標に講義を行う。要点を踏まえ、過去問演習を中心に小テストで知識の確認を行う。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				数学・資料解釈分野の要点を理解し、初級程度公務員試験過去問題の解答で平均正答率80%ができる。	
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・麻生キャリアサポート編集 : 絶対合格シリーズ 自然科学 問題集編 ・麻生キャリアサポート編集 : 絶対合格シリーズ 数的推理・資料解釈 問題集編 						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	数 学 1	さまざまな計算				
	2	資料解釈 1	実数と構成比①				
	3	数 学 2	2次方程式と2次不等式				
	4	資料解釈 2	実数と構成比②				
	5	数 学 3	2次関数①				
	6	資料解釈 3	実数と構成比③				
	7	数 学 4	2次関数②				
	8	資料解釈 4	実数と構成比④				
	9	数 学 5	三角比				
	10	資料解釈 5	指数と構成比①				
	11	数 学 6	その他の分野				
	12	資料解釈 6	指数と構成比②				
	13	数 学 7	総合演習				
	14	資料解釈 7	増減率①				
15	資料解釈 8	増減率②					
評価方法	4月～6月での小テストでの総出題満点を100点と換算し評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト	○	○				100%
履修上の注意							

科目名	自然科学講義実戦(生物・地学)						
科目名(英)							
単位数	3単位	時間数	15時間/45時間	担当者	大村 彩		
実施年度	2019年度	実施時期		実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	公務員総合科 2年						
授業概要	公務員試験の一次試験(筆記試験)で「自然科学(生物・地学)」での得点率を上げることを学習目標に講義を行う。生物・地学分野の要点を踏まえ、過去問演習を中心に知識の確認を行う。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					自然科学(生物・地学)分野の要点を理解し、初級程度公務員試験過去問題の解答で平均正答率80%が	
テキスト・教材 参考図書	・麻生キャリアサポート編集 : 絶対合格シリーズ 自然科学 問題集編 ・麻生キャリアサポート編集 : 絶対合格シリーズ 自然科学 テキスト編						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	生物1 ①生体のつくり ②細胞分裂・生殖					
	2	生物2 ③遺伝					
	3	生物3 ④酵素 ⑤異化(呼吸・発酵)					
	4	生物4 ⑦刺激と反応					
	5	生物5 ⑧恒常性と調節(1)					
	6	生物6 ⑨恒常性と調節(2)					
	7	生物7 ⑥同化(光合成・窒素同化) ⑪生態系・進化					
	8	生物8 ⑩植物の反応・動物の行動					
	9	地学1 ①地球の内部 ⑩地球の歴史					
	10	地学2 ②地震 ③岩石・火山					
	11	地学3 ④大気構成					
	12	地学4 ⑤天気					
	13	地学5 ⑥地球の運動 ⑦太陽・月					
	14	地学6 ⑧太陽系の天体					
	15	地学7 ⑨恒星と宇宙					
評価方法	4月～6月での小テストでの総出題満点を100点と換算し評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト	○					100%
履修上の注意							

科目名	自然科学講義実戦(物理・化学)						
科目名(英)							
単位数	3単位	時間数	15時間/45時間	担当者	堀 津与志		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	公務員総合科 2年						
授業概要	公務員試験の一次試験(筆記試験)で「自然科学(物理化学)」での得点率を上げることを学習目標に講義を行う。物理化学分野の要点を踏まえ、過去問演習を中心に小テストで知識の確認を行う。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					自然科学(物理・化学)分野の要点を理解し、初級程度公務員試験過去問題の解答で平均正答率80%が達成できる。	
テキスト・教材 参考図書	・麻生キャリアサポート編集 絶対合格シリーズ 自然科学 問題集編						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	物理 力			次回小テスト範囲の暗記		
	2	物理 滑車・てんびん			次回小テスト範囲の暗記		
	3	物理 物体の運動			次回小テスト範囲の暗記		
	4	物理 力学的エネルギー・熱量			次回小テスト範囲の暗記		
	5	物理 電気			次回小テスト範囲の暗記		
	6	物理 波動①			次回小テスト範囲の暗記		
	7	物理 波動②			次回小テスト範囲の暗記		
	8	化学 物体の構造			次回小テスト範囲の暗記		
	9	化学 モル・化学反応式			次回小テスト範囲の暗記		
	10	化学 酸と塩基			次回小テスト範囲の暗記		
	11	化学 酸化・還元			次回小テスト範囲の暗記		
	12	化学 周期表			次回小テスト範囲の暗記		
	13	化学 気体			次回小テスト範囲の暗記		
	14	化学 気体の性質			次回小テスト範囲の暗記		
	15	化学 金属の性質			次回小テスト範囲の暗記		
評価方法	4月～6月での小テストでの総出題満点を100点と換算し評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト	○					100%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、単位を認めない。						

科目名	文章理解講義実戦(和文)						
科目名(英)	Japanese Language						
単位数	2単位	時間数	15時間/30時間	担当者	蓑原 睦		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	公務員総合科 2年						
授業概要	公務員試験に則した文章読解演習を行う。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				文章理解(和文)において、内容合致・要旨把握・文章整序・空欄補充における読解力を身につけ、各種受験先の問題でミスを1題以内に抑えることができる。	
テキスト・教材 参考図書	・七賢出版 : オープンセサミシリーズ公務員 文章理解						
授業計画		授業項目・内容			授業外学習指示		
	1	文章理解(和文/内容合致)演習および解説講義 4時間					
	2	文章理解(和文/要旨把握)演習および解説講義 4時間					
	3	文章理解(和文/文章整序)演習および解説講義 3時間					
	4	文章理解(和文/空欄補充)演習および解説講義 3時間					
	5	確認テスト 1時間					
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
評価方法	確認テストでの総出題満点を100点と換算し評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	確認テスト	○	○				100%
履修上の注意							

科目名	文章理解講義実戦(英語実戦講義)						
科目名(英)	English Grammar & Reading Comprehension						
単位数	2単位	時間数	15時間/30時間	担当者	本多 利幸		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	公務員総合科 2年						
授業概要	公務員試験の一次試験(筆記試験)で「文章理解(英語)+英語(文法)」での得点率を上げることを学習目標に掲げ、講義を行う。英語分野の要点を踏まえ、過去問演習を中心に小テストで知識の確認を行う。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○		○		文章理解(英文)、英文法問題において、正解を導くための解法・知識を身につけることができる。	
テキスト・教材 参考図書	・七賢出版 : オープンセサミシリーズ公務員 文章理解 ・ナガセ : 英単語FORMULA1700						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	文章理解(英文)英文2題演習(20分)・解説(30分)				次回小テスト範囲の暗記	
	2	文章理解(英文)英文2題演習(20分)・解説(30分)				次回小テスト範囲の暗記	
	3	文章理解(英文)英文2題演習(20分)・解説(30分)				次回小テスト範囲の暗記	
	4	文章理解(英文)英文2題演習(20分)・解説(30分)				次回小テスト範囲の暗記	
	5	文章理解(英文)英文2題演習(20分)・解説(30分)				次回小テスト範囲の暗記	
	6	文章理解(英文)英文2題演習(20分)・解説(30分)				次回小テスト範囲の暗記	
	7	文章理解(英文)英文2題演習(20分)・解説(30分)				次回小テスト範囲の暗記	
	8	文章理解(英文)英文2題演習(20分)・解説(30分)				次回小テスト範囲の暗記	
	9	文章理解(英文)英文2題演習(20分)・解説(30分)				次回小テスト範囲の暗記	
	10	文章理解(英文)英文2題演習(20分)・解説(30分)				次回小テスト範囲の暗記	
	11	文章理解(英文)英文2題演習(20分)・解説(30分)				次回小テスト範囲の暗記	
	12	文章理解(英文)英文2題演習(20分)・解説(30分)				次回小テスト範囲の暗記	
	13	文章理解(英文)英文2題演習(20分)・解説(30分)				次回小テスト範囲の暗記	
	14	文章理解(英文)英文2題演習(20分)・解説(30分)				次回小テスト範囲の暗記	
	15	文章理解(英文)英文2題演習(20分)・解説(30分)				次回小テスト範囲の暗記	
評価方法	4月～6月での小テストでの総出題満点を100点と換算し評価する。また、出席状況も評価の対象とする。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト	◎	◎				80%
	出席状況				◎		20%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は単位を認めない。						

科目名	判断推理講義実戦						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	江藤 弘明		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	公務員総合科 2年						
授業概要	公務員試験の一次試験(筆記試験)で「判断推理/課題処理」での得点率を上げることを学習目標に授業を行う。判断推理/課題処理の要点を踏まえ、過去問演習を中心小テストで知識の確認を行う。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				判断推理問題を1問5分以内に正確に解くことができる。	
テキスト・教材 参考図書	・麻生キャリアサポート編集 : 絶対合格シリーズ 判断推理 問題集編 ・配布プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	論理分野 単元別演習 「対応関係」					
	2	論理分野 単元別演習 「順序関係」					
	3	論理分野 単元別演習 「位置・方位」					
	4	論理分野 単元別演習 「論理」					
	5	論理分野 単元別演習 「手順」					
	6	論理分野 単元別演習 「数量推理」					
	7	論理分野 単元別演習 「試合・勝敗」					
	8	論理分野 単元別演習 「うそつき」					
	9	論理分野 単元別演習 「暗号」					
	10	論理分野 単元別演習 「集合人数」					
	11	論理分野 総合演習 「第1回・第2回過去問」					
	12	論理分野 総合演習 「第3回・第4回過去問」					
	13	論理分野 総合演習 「第5回・第6回過去問」					
	14	論理分野 総合演習 「第7回・第8回過去問」					
15	論理分野 総合演習 「第9回・第10回過去問」						
評価方法	4月～6月での小テストでの総出題満点を100点と換算し評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト	○	○				100%
履修上の注意							

科目名	数的推理講義実戦						
科目名(英)	Numerical reasoning						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	船木 竜太		
実施年度	2019年	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	公務員総合科 2年						
授業概要	公務員試験の一次試験(筆記試験)で「数的推理」での得点率を上げることを学習目標に掲げ、講義を行う。 数的推理の要点を踏まえ、過去問演習を中心に小テストで知識の確認を行う。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				数的推理問題の解答を1問について3分以内に早く正確に行うことができる。	
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・麻生キャリアサポート編集 : 絶対合格シリーズ 数的推理 問題集編 ・配布プリント 						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	場合の数(数え上げと順列)					
	2	場合の数(順列と組合わせ)					
	3	確率(順列と組合わせ)					
	4	確率(排反・独立)					
	5	確率(反復試行・条件付確率・期待値)					
	6	旅人算					
	7	通過算					
	8	時計算					
	9	その他の速さ					
	10	仕事算					
	11	濃度					
	12	比と割合					
	13	約数・倍数					
	14	整数					
	15	数列・規則					
評価方法	4月～6月での小テストでの総出題満点を100点と換算し評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト	○	○				100%
履修上の注意							

科目名	適性知識演習実戦						
科目名(英)							
単位数	5単位	時間数	75時間	担当者	各担任		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	公務員総合科 2年						
授業概要	事務適性試験の反復練習を実施し、適性試験に慣れることと処理速度をあげること身に付けさせ、点数向上を目指す。また、前週及び前日までに実施された演習試験を行うことで、授業内容の理解と習得状況の確認を行い知識の定着を図る。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				事務適性試験を反復して解くことで、処理速度をあげ、より多くの問題を解くことができる。	
	○					演習試験で自己の授業理解度の確認と併に、再試験によって不正解内容の定着がされ、以後同分野問題の解答ができる。	
テキスト・教材 参考図書	・ウイネット : 適性検査演習問題(全80回) ・オリジナル教材 : 一問一答集「原点」						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
		全75回以下の内容を実施					
		・公務員試験適性検査演習					
		・一問一答集「原点」の演習試験					
評価方法	適性演習試験、演習試験を実施し、正答率を点数換算し総合評価。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	適性演習試験	◎	◎				80%
	演習試験	○	○				20%
履修上の注意							

科目名	GCB II						
科目名(英)	Global Citizen Basic II						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	担任		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	公務員総合科 2年						
授業概要	公務員として、地域・国家の発展に貢献する人材となるため、志を立て、将来のキャリアビジョンを自分の言葉で表現する。そこで本授業では、成功者の考え方や力のある端的なメッセージに触れ、世界を取り巻く情報を知り、自らのあり方を考え、思いを言語化していく。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
				○		考えることの大切さを知り、自らの考えを言葉で伝えられる。	
				○		目標の大切さ、志の大切さを知り、自らの行動方針を立てることができる。	
テキスト・教材 参考図書	・GCB II テキスト						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	第1講座 グローバル・シティズンと志(1)					
	2	第1講座 グローバル・シティズンと志(2)					
	3	第3講座 自己を知る(1)					
	4	第3講座 自己を知る(2)					
	5	第2講座 なぜ志を立てることが大切なのか					
	6	第4講座 伝える力を学ぶ(1)					
	7	第4講座 伝える力を学ぶ(2)					
	8	第5講座 伝える力を学ぶ(3)					
	9	第6講座 与えられた一度の人生に感謝し、志高く生きる(1)					
	10	第6講座 与えられた一度の人生に感謝し、志高く生きる(2)					
	11	第7講座 自己の大切さと責任を自覚する(1)					
	12	第7講座 自己の大切さと責任を自覚する(2)					
	13	第8講座 GCB II 講座を経験し得たこと(1)					
	14	第8講座 GCB II 講座を経験し得たこと(2)					
15	第8講座 GCB II 講座を経験し得たこと(3)						
評価方法	単位取得のための出席要件を満たし、スピーチ・レポートにおける合否判定で合格した場合、R評価(合格)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	発表				◎		60%
	レポート				○		40%
履修上の注意							

科目名	公務員リテラシー実戦						
科目名(英)							
単位数	3単位	時間数	51時間	担当者	担任		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	公務員総合科 2年						
授業概要	公務員及び公務員採用試験について全般に学ぶ。志望する公務員の各種知識に加え、公務員採用試験受験のために必要な各種の知識を幅広く学び、採用試験に合格できるスキルを身に付ける。また、受講を重ねることにより、志望先より必要とされる人材となるための考えを深める。 ※授業の進行は、下記内容を必要な期間に有効に実施する。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○		○		自分の志望する職種に対しての情報収集を、自分自身で完結できる	
	○	○	○	○		公務員採用試験についての手続きを、自分自身で完結できる	
	○	○	○	○		公務員採用試験本試験についての各種準備を、自分自身で完結できる	
テキスト・教材 参考図書	講義担当教員により、プリント・パワーポイント(プレゼンテーション教材)等を準備、配布する						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	1. 政策学習 3時間 ・希望職種別、職種別に実施されている政策への理解を深める					
	2	2. 職種別ガイダンス 14時間 ・国家及び地方公共団体別の理解を深める					
	3	3. 職種別公務員試験対策 14時間 ・希望職種別に分かれ、団体別の特徴的な試験対策を行う					
	4	4. 集団面接対策 4時間 ・希望職種別に分かれ、職種別の具体的な形式で集団面接対策を行う					
	5	5. 集団討論対策 3時間 ・政策学習で深めた知識をもとに討論を行う					
	6	6. 公務員試験受験実務対策 3時間 ・公務員試験の手続きについて学ぶ					
	7	7. 教養演習 4時間 ・受験先別の教養試験対策演習を行う					
	8	8. 作文演習 6時間 ・公務員試験で出題されるテーマの作文を書く					
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	各項目に対する取り組みを、出席状況・提出物・受講状況(事前調べ、集団面接に対する準備物、集団討論内の発言回数等)によって総合評価する。基準を満たした場合にR評価(合格)とし、基準に満たない場合は、D評価(不合格)とする。 提出物の提出状況 8割以上+授業参加時の態度で総合評価する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	集団面接			○			25%
	集団討論			○			25%
	テスト・作文	○	○				25%
出席状況				○		25%	
履修上の注意							

科目名	総合演習実戦						
科目名(英)							
単位数	3単位	時間数	45時間	担当者	担任		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	公務員総合科 2年						
授業概要	本試験形式(本試験と同様の制限時間で実施)で演習を行い、知識及び解法の総復習と確認を行う。						
授業形式	講義:	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				各本試験問題で総得点中6割以上を得点できる。	
テキスト・教材 参考図書	・模擬試験(プリント)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	1. 国家一般・税務型 全5回					
	2	2. 海上保安学校・入国警備官・皇宮護衛官型 全5回					
	3	3. 裁判所型 全3回					
	4	4. 刑務官型 全2回					
	5	※全15回を1回あたり3時間を使用し実施する。					
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	模試採点結果(総合得点)平均成績で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	本試験過去問演習採点結果	○	○				100%
履修上の注意							

科目名	総合演習解説講義実戦						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	担任		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	公務員総合科 2年						
授業概要	総合演習実戦において行った問題演習について、重点項目の振り返りを目的とした講義を行う。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				問題演習にて出題された問題の性質、解法を理解し、同種の問題での6割以上の正答ができる	
テキスト・教材 参考図書	・模擬試験(プリント)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	解説1 国家一般・税務型 全5回					
	2	解説2 海上保安学校・入国警備官・皇宮護衛官型 全5回					
	3	解説3 裁判所型 全3回					
	4	解説4 刑務官型 全2回					
	5	※全15回を1回あたり2時間を使用し実施する。					
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	8、9月期に講義内容に基づいた確認テストを行い、得点率で評価を行う。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	確認テスト	○	○				100%
履修上の注意							

科目名	教養演習実戦						
科目名(英)							
単位数	6単位	時間数	90時間	担当者	担任		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	公務員総合科 2年						
授業概要	初級公務員採用本試験形式の模擬試験を実施し、実戦形式で2時間で全科目について演習を行い、その後1時間で演習のポイントを中心に解説講義を行い理解度を深める。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				本試験形式演習での解答に於いて、各回の演習で正答率8割以上で解答できる。	
テキスト・教材 参考図書	ウィネット : 実戦模試 全30回						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	1. 初級公務員採用試験模擬試験 45問/100分型 30回実施					
	2	(1) 演習:45問/100分型への適応力強化(時間配分等) 2時間で実施					
	3	(2) 解説:重要項目選定し解説 1時間で実施					
	4						
	5						
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	模試採点結果平均成績で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 ※科目別では無く総合得点にて評価						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
		演習問題採点結果	○	○			100%
履修上の注意	必ず毎回復習を行うこと						

科目名	模擬試験演習実戦						
科目名(英)							
単位数	12単位	時間数	192時間	担当者	担任		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	公務員総合科 2年						
授業概要	実際の試験形式と同様の模擬試験演習を実施し、初級程度本試験(国家一般職・税務、東京特別区、刑務官、海上保安学校等)に習熟することを目的とする。また正答率として7割以上正答出来る。						
授業形式	講義:	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他		
	○	○					
	目標 模擬試験で、各回とも7割以上正答できる。						
テキスト・教材 参考図書	・本試験過去問題						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	全48回の模試演習を下記の内容で実施する。					
	2	1. 国家一般職・税務型 8回					
	3	2. 裁判所型 5回					
	4	3. 海上保安官,入国警備官,皇宮護衛官型 8回					
	5	4. 海上保安学校(特別)型 3回					
	6	5. 刑務官型 7回					
	7	6. 東京都型 7回					
	8	7. 東京特別区型 7回					
	9	8. 大阪府型 2回					
	10	9. 麻生統一模試 1回					
	11	計 48回					
	12	※1回あたりの演習を4時間で実施する。					
	13						
	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
20							
評価方法	模試採点結果・・・全48回の得点平均で評価する。 ※時事問題など本年度本試験対応に適切でない問題については計算の基礎から除外する 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	模試採点結果 総合得点平均	○	○				100%
履修上の注意							

科目名	模擬試験解説講義実戦						
科目名(英)							
単位数	4単位	時間数	68時間	担当者	担任		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	公務員総合科 2年						
授業概要	模擬試験演習実戦において行った問題演習等について、重点項目の全体的振り返りと、自己の問題回答についての振り返りを目的とした講義を行う。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				本試験過去問題で、各回とも7割以上正答できる。	
テキスト・教材 参考図書	本試験過去問						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	全34回の下記模試演習の解説を実施する。					
	2	1. 国家一般職・税務型 8回					
	3	2. 裁判所型 5回					
	4	3. 刑務官型 7回					
	5	4. 東京都型 7回					
	6	5. 東京特別区型 7回					
	7	計 34回					
	8	1回あたりの解説を2時間で実施する。					
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	8、9月期に講義内容に基づいた確認テストを行い、得点率で評価を行う。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	確認テスト	○	○				100%
履修上の注意							

科目名	集中講義実戦						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	担任		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	公務員総合科 2年						
授業概要	4月期に実施した模擬試験により抽出した、社会科学・人文科学・自然科学分野の弱点部を、全30回の演習で 得点率20%向上を目指す。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				4月期実施模擬試験の弱点科目得点を、7月期に2割以上向上することができる。	
テキスト・教材 参考図書	演習オリジナルプリント(担当講師作成)						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	社会科学、人文科学、自然科学弱点科目対応講義 全30回					
	2	1回の演習:(問題演習20分と解説講義30分で構成)					
	3						
	4						
	5						
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	集中講義終了後の7月期に確認テストを実施し取得得点評価する、 S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)で評価。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	確認テスト	○	○				100%
履修上の注意							